

**製品名: ApoA-I ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab07020**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	31kDa

## 抗原情報

遺伝子名	APOA1
別名	APOA1; Apolipoprotein A-I; Apo-AI; ApoA-I; Apolipoprotein A1
遺伝子 ID	335.0
SwissProt ID	P02647
免疫原	抗血清はヒト APOA1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

## 背景

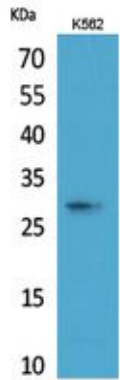
この遺伝子は、血漿中の高密度リポタンパク質（HDL）の主要タンパク質成分であるアポリポタンパク質 A-I をコードしています。

コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって成熟タンパク質へと変換されます。成熟タンパク質は、組織から肝臓へのコレステロールの排出を促進し、排泄を促進するとともに、ほとんどの血漿コレステロールエステルの形成に関与する酵素であるレシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ (LCAT) の補因子です。この遺伝子は、11番染色体上の他の2つのアポリポタンパク質遺伝子と密接に関連しています。この遺伝子の欠陥は、タンジール病などのHDL欠乏症や全身性非神経性アミロイドーシスと関連しています。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはプレプロタンパク質をコードしています。 [RefSeq 提供、2015年12月], 疾患: APOA1の欠陥は、アミロイドーシス8型 (AMYL8) [MIM: 105200]の原因です。全身性非神経性アミロイドーシスまたはオステルタグ型アミロイドーシスとしても知られています。AMYL8は、アポリポタンパク質A1、フィブリノーゲン、およびリソチームアミロイドの沈着による遺伝性全身性アミロイドーシスです。内臓が特に影響を受けます。神経系は影響を受けません。臨床的特徴には、ネフローゼ症候群、動脈性高血圧、肝脾腫、胆汁うっ滞、点状皮膚発疹をもたらす腎アミロイドーシスがあります。 , 疾患: APOA1の欠陥は、高密度リポタンパク質欠損症2型 (HDL2) [MIM: 604091]の原因です。家族性低 $\alpha$ リポタンパク血症 (FHA) としても知られる。遺伝形式は常染色体優性である。 , 疾患: APOA1の欠陥は、高密度リポタンパク質欠損症1型 (HDL1) [MIM: 205400]で観察される低HDL値の原因である。無 $\alpha$ リポタンパク血症またはタンジール病 (TGD) としても知られる。HDL1は、血漿HDLの欠乏、コレステロールエステルの蓄積、早期冠動脈疾患、肝脾腫、再発性末梢神経障害、進行性の筋萎縮および筋力低下を特徴とする劣性疾患である。HDL1患者では、おそらく変換酵素活性の欠陥またはTangier ApoA-Iの特定の構造欠陥が原因で、プロApoA-I分子の成熟鎖への不完全な変換が原因で、ApoA-IはHDLと結合できません。 , 疾患: APOA1の欠陥は、アミロイドポリニューロパチー-ネフロパチーアイオワ型 (AMYLIOWA) [MIM: 107680]の原因です。アミロイドーシス ヴァン アレン型または家族性アミロイドポリニューロパチー III型としても知られています。AMYLIOWAは、主にアポリポタンパク質A1で構成されるアミロイドの沈着による遺伝性全身性アミロイドーシスです。臨床像は、疾患の初期段階では神経障害、経過後期には腎症が顕著です。死亡原因のほとんどは腎アミロイドーシスです。重度の消化性潰瘍を呈する患者もおり、難聴もよく見られます。白内障はいくつか認められるが、硝子体混濁は認められない。 , 機能: 組織からのコレステロール流出を促進し、レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ (LCAT) の補因子として作用することにより、組織から肝臓へのコレステロールの逆輸送に関与する。SPAP複合体の一部として、精子の運動性を活性化する。 , オンライン情報: シンガポールヒト変異・多型データベース, PTM: パルミトイル化。 , 類似性: アポリポタンパク質A1/A4/Eファミリーに属する。 , サブユニット: APOA1BPおよびCLUと相互作用する。APOA1、免疫グロブリン重鎖、免疫グロブリン軽鎖、およびアルブミンからなる精子活性化タンパク質複合体 (SPAP) の構成要素である。 , 組織特異性: 血漿HDLの主要タンパク質であり、カイロミクロンにも存在する。肝臓および小腸で合成される。 ,

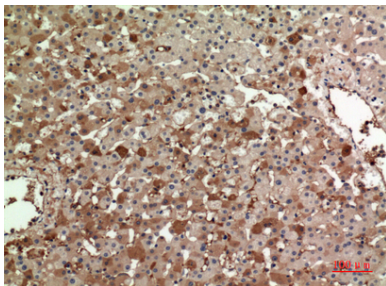
## 研究分野

PPAR;

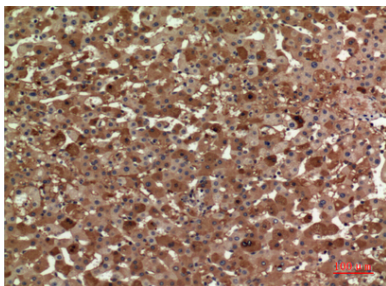
## 画像データ



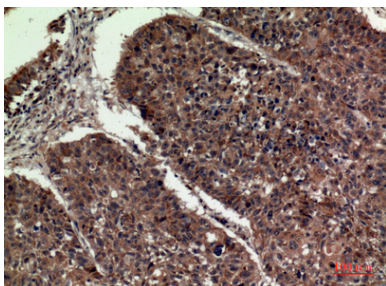
ApoA-I ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



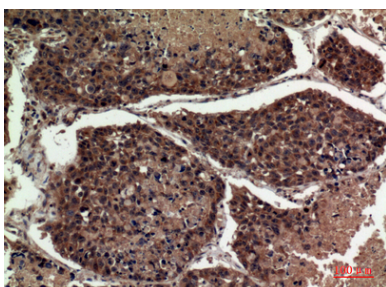
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された